

新「共通特論 I」：臨床腫瘍学総論
個別化医療における腫瘍病理学の基礎

講義日：2023年7月1日（土）

講師：伊藤 智雄（神戸大学医学部附属病院 病理部・病理診断科 教授 病理部長）

要旨

個別化医療が行われる腫瘍病理学についてその基礎を解説する。腫瘍は先ずその定義を知ることから始まる。良性と悪性に分かれるが、その基本も学ぶ。腫瘍の診断の中心は病理学であるが、どのように診断のアプローチを行うかを概説する。形態学以外に免疫染色が用いられ、近年ではその結果が治療の方向性を左右するようになった。免疫染色の基礎と新たな抗体の一部を紹介する。特に理論的な免疫染色診断学が登場し、より正確な診断ができるような環境が整いつつある。病理診断をもととして個別化医療が行われる ALK（未分化大細胞性リンパ腫および肺腺癌）についてその病理診断の実際と課題を学ぶ。また、AI が診断に用いられる様になってきたが、その方向性についても概説する。